

■まとめ

一つの長文を読み、医学科が大問3、4、5、6に解答する。

2014年度は「古代のガンの発生率」に関する長文が出題された。

解答方式	時間	大問数	難易度
記述式	90分	4問	やや難

■設問別分析

大問	形式	難易度
3	内容一致	標準
4	英問英答	標準
5	下線部和訳	標準
6	要約	標準

■解説

大問3 内容一致

オーソドックスな内容一致問題。本文中の重要表現を読み取ることができるかどうか鍵となる。主張と具体例などの情報構造を読み取る訓練を行っておきたい。

大問4 英問英答

本文に関する3つの問に10～25語の英語で解答する問題。先に問題文に目を通しておくと効率よく解くことができる。

大問5 下線部和訳

2014年度は以下の英文の出題であった。

(ア) So how are scientists to evaluate, for example, the significance of the handful of fossilized examples of osteosarcoma, a rare bone cancer that mostly affects young people?

まずは「be to 不定詞」の疑問文であることを把握する。

the significance of the handful of fossilized examples of osteosarcoma

は of を複数含んでいるため把握しづらいが、「ほんの一握りの化石化した骨肉腫の実例の重要性」となる。

●handful of = 「一握りの」

osteosarcoma, a rare bone cancer that mostly affects young people

では、that 以下が関係代名詞の作る形容詞節となり、a rare bone cancer を修飾している。

→「たいてい若者を襲う珍しい骨のガン」

「,」は同格のカンマ。

解答

では、例えば、たいてい若者を襲う珍しい骨のガンである骨肉腫の、ほんの一握りの化石化した実例の重要性を、科学者はどのように見極めるべきなのだろうか。

(イ) As scientists continue to investigate, there may be comfort in knowing that cancer is not entirely civilization' s fault.

接続詞 as は「時」で訳しておいてよい。

つまり、「科学者が調査を続けるときに、」とする。

there may be comfort in ~ing は直訳すると、

「~ing することに、comfort (慰め)があるかもしれない」となる。

解答

科学者が調査を続けるときには、ガンが何から何まで文明のせいではないということを知っておくことに慰めがある(→慰めが見いだせる)かもしれない。

問6 要約問題

400字で本文の内容を要約する。文章のなかの情報構造を読み取る訓練を怠らなければ、まとめるのは簡単であろう。